マンガ評論新人賞設立

日本の現代マンガは、質的にも量的にもきわめて高度な発達を遂げ、諸外国からの関心も高まっている。しかし、実作に比して評論・研究は著しく遅れ、各種マンガ賞がマンガの実情を必ずしも反映しなかったり、マンガ論議が的外れであったり、ジャーナリズムのマンガ論議が的外れであったり、という遺憾な現象もしばしば見られる。このような現状を憂慮し、マンガ評論・研究の深化と拡大をはかるため、マンガ評論新人賞を設立する。

一九九二年五月一日

詮衡委員会（五十音順）
呉智英
村上知彦
米沢嘉博
協力「ガロ」編集部

項

1賞の種類と賞金

①マンガ評論新人賞（五十万円）
②同奨励賞（十万円）
③佳作

各賞に人数の枠は設けない。また、本誌掲載の場合、賞金の他に規定の原稿料が支払われる。

2応募資格

新人であること以外、年齢・性別・国籍等は一切問わない。新人とは、マンガ評論・研究の単行本を出したことのない者とする。ただし、自費出版はこの限りでない。マンガ隣接の文芸・映画・美術等の評論・研究の単行本を出したことがある応募希望者は、問合せをされたい。

3評論の対象・形式

現代マンガに対する未発表の評論・研究。種類や形式は限定せず、作家論、作品論、マンガ史研究、評論史研究、ルポルタージュ等を広く含むものとする。現代より前のマンガや外国のマンガに関するものも、現代マンガを考える上で有益なものは本賞の対象となる。

4詮衡

詮衡委員会の合議による。各委員のマンガ論・マンガ観と対立する作品であっても、そのことによる詮衡上の不利益は一切生じない。

5枚数・その他

四〇〇字詰原稿用紙で五〇枚前後。内容によっては三〇枚程度の作品も考慮する。ワープロ原稿も可。いずれも、日本語・縦書き、点字原稿は墨字訳を付ける。必要な図版類があれば、出典明記の上、コピーを貼付する。また、本文の後に、住所・氏名・電話番号・生年月日・最終学歴・職業を記した別紙を添える。応募原稿は返却されない。

6締切り、発表

毎年十二月十日を締切りとする。結果は翌春の「ガロ」誌上で発表される。

7本賞の存続

本賞の賞金および掲載作の原稿料は、呉智英『現代マンガの全体像・増補版』（史輝出版）の印税によってまかなわれる同書の印税発生がなくなった場合本賞の継続が中止されることもある。

8あて先

〒101 東京都千代田区神田神保町
一―六二 青林堂内
「マンガ評論新人賞」係

一人でだいたい行くのであるが、見おわった時にちょっと話したいって時が(1人だと)ちとさびしいのであります…。

青空脳天満腹画報

第22号 No.21

一人旅の悲しく、せつない思い出話

[ニース・パリ三週間の一人旅]

コーエン兄弟の最新作「バートン・フィンク」を見終わった時、私の泊ったあの不思議(不気味かな?)なホテルのことを思い出した。一九八八年の秋、私はひょんなことでニース・パリ三週間の一人旅をした。ほんとなんでまたフランスだったのか自分でも不思議である。なんとなくノリ、なりゆきという奴で、なりゆきの旅行は波瀾万丈だった…。はっきり言ってフランス語全くダメ、英語もアカンという最低な私だった。ニースには知り合いがいたので行ったのだが…なんか不思議な人であんまり一緒に行動してくれなかったのでひたすら私はブラブラ一人で歩いた。何日かは彼女のアパートに泊めてもらったがホテルに泊まることになった…。予算もあんまりないけどシャワーはついててほしいという希望はナカナカむずかしかった。ホテルは駅には近かったがちょっとこわい裏通りのネオンがあやしげな『ホテル リージェンシー』(香港のあのリージェンシーとは天国と地獄ぐらいの差だよ)。二階と三階がホテルでマダムは中国人だった。部屋はほんとに安かった。その当時で110F(約二千六百円)だったからほんと安かったです。

行って部屋に入るとほんとに暗い。重苦しい部屋だった。でも広くてダブルベッドとシングルベッドがあった。やっぱり変な絵がかかっていて、少しやっぱりまがってかかっていた。そおいうのって生理的に気持ちが悪い(へやの)のでちゃんと直した。トイレは外にあってビビりながら出ると隣の部屋があいていて、あやしげな男女が口げんかしてたりして私を一層ビビらせた。夜中もケンカしててこわかった。他にうつる気力も手だてもなかったので(なんせしゃべれんしねぇ〜)そこに6泊もした。日中は歩きまわるので夜は疲れてぐっすりねむった。美術館に行ったり本屋に行ったり、公園でボケーッとすごした。ナカナカ充実していた気もする。ある日、こわいことに気がついた。部屋の隅にある木製のタンスのとっての所にくさりがグルグル巻きにしてあって、おまけに錠までかかっている。気にはなった。こわいと思ったがそんな風に思っているとドンドンこわい方に想像力が働くし、ラッキーなことにそんな余裕(心も身体も)もなくてよかった。今、思い出してもこわい…。あの旅行はほんとにすごい旅行だった…。まっ、いい思い出ですけどね、だって……。ほんまかよォ——。

今度、うちに猫がくるんです。うれしいな。

責任編集 ツチハシトシコ

ケケケ… 変なヤツ

●イッセー尾形のとまらない生活を見た。三十分以上パルコの前でボーッとたってて会場に入ってもすわれなくてはじまるまで三十分とはじまってからの一時間45分たってたらさすがに足がいたくてガクガクした。井の頭線を満員で大変だった…でもおもしろかった!! よかったよかった。

● バートン・フィンクが始まる前に流れておったのがあの名作「ローカル・ヒーロー」のサントラでしたよっ…もうこれだけで、うーん やられたってかんじで…中沢新一氏もこられてましたね…いいかばんをおもちでした!!

今年は映画をいっぱい見ようと思ってます。私は右側の通路の脇の前から4番目ぐらいで見るのが好き。

近所往来

新しいおうちに引越して早や二ケ月（この号が出る頃は三ケ月になるけどね…）。歩いて二分で図書館（私の資料室ね）があってベリーナイスなのよ。近所のお店や人物チェックもそろそろ進んだので読者の皆様には何の関係もないのですが御紹介したいと思います。公園にも近いし、ナカナカいい場所なんですぞ。

①クリーニング屋のおやじさん

お店の前を通るたびにチェックしているが、いつもランニング姿で一生懸命プレスしているか、津軽三味線に熱中している。確率としては三味線をひいてる方が多いくらい。少しの時間もおしんで三味線をひいているひたむきな姿には感動すらおぼえる。

②ヒグチ薬局のおばちゃん

うそみたいなまゆ…

ハイハイ…

ちょっとこわい

一応、薬局なので白衣なんかを着てるがあんまり似合ってない。なんせ化粧がスゴいもんね。自分のまゆを全く無視して書いてるまゆのすごいこと、えらいこわいのよ…。時々御主人かと思われる男性が店番をしているが、これは絶対に奥さんのオシリにひかれてそうです。全くの他人のことをこんな風に思う私も失礼な奴ですが…。「大草原の小さな家」のオルソンさんに似てます。そおいう私もえたいの知れん不気味な人なのかもしれないなあ〜と自分で思ったりします。でも私はふつうの人ですよ…だって

午睡漫画（ごすいまんが） 21

1992 © TOSHICO "SPANKY" TSUCHIHASHI

うーん、春風がホホにやさしいなあ

こおいう日はサイクリング日和なのであるよ……

ポットにお茶と袋菓子をリュックにつめてっと……

砧公園は大好きな場所なのです…ほんといいよなあ〜。

カール

起きたら夜になってたらこわいよなー。

一時間ぐらい本気ねてしまいましたよ。

阿佐ケ谷に住んでた時のお気に入りは「石神井公園」でした…よく行きましたもん…。一人で「東京の公園を楽しむ会」というのを発足してけっこうアチコチに行ってたんですけど…まだまだ行ってない公園も多い…。井の頭公園も好きよん…。ほんと東京は緑が多いよね。

私は湘南という所にまだ一回も行ったことがないのであるが仲良しイラストレーター メグ.ホソキさんのユーノスにのせてもらって行く予定で———す. ククク 楽しみであるよ… へへへ